

令和6年第6回大仙市教育委員会定例会議事録

令和6年第6回大仙市教育委員会定例会を令和6年6月21日(金)午後3時30分から大曲庁舎3階大会議室において開催した。

出席者

教育長	伊藤雅己
委員	小笠原晃
	中島康
	伊藤勝良

説明員	事務局長	藤原秀一
	次長兼教育総務課長	小松大
	教育総務課	佐々木翔馬
	次長兼教育指導課長	佐々木泰宏
	参事兼教育研究所長	三浦浩幸
	施設管理課長	高橋隆伸
	学校給食総合センター所長	佐々木満智子
	生涯学習課長	八嶋洋晃
	次長兼総合図書館長	伊藤ひろみ
	次長兼総合市民会館長	品川雄喜
	花館公民館長	枝川元
	神岡中央公民館長	大野暁佳
	大綱交流館長	遠藤隆伸
	中仙公民館長	大阪文博
	南外公民館長	佐藤マキ
	太田公民館長	太田敬

事務局(書記)

教育総務課参事

大釜弘靖

付議案件 なし

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、玉井委員と高見委員から欠席の御連絡が入っております。定足数は満たしておりますので、会議は成立いたします。書記に、大釜参事を指名します。

ただいまから、令和6年、第6回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

はじめに、市議会第2回定例会最終日に、伊藤勝良教育委員が再任されましたので、ご報告いたします。任期は、令和6年7月1日から令和10年6月30日までの4年間です。伊藤委員からは、引き続き本市教育行政についての様々なご助言をよろしく願います。

また、私も、同日、再任されました。任期は、令和6年7月1日から令和9年6月30日までの3年間です。大仙市の学校教育、社会教育のために精一杯力を尽くしてまいりますので、よろしく願います。

それでは、報告の1ページをご覧ください。

最初に学校教育関係です。少し早いですが、小・中学校の夏休みについてお伝えします。今年度は、7/20(土)～8/20(火)までの32日間が夏休みとなります。そして、いよいよ教育委員会訪問がスタートします。今月は3校を訪問する予定です。10月までをめぐり、すべての小・中学校を訪問する予定ですので、委員の皆様のお出席についてもよろしく願います。

特色ある教育活動につきましては、スポーツ少年団や部活動の大会が順調に開催されております。資料の通り、バドミントンで全県優勝をはたした小学生の教育長報告がありました。次に、中学校郡市総体の団体戦の優勝校を掲載しております。全県大会は、柔道が7/6(土)から、野球が、7/24(水)から、他の競技は、7/13(土)から開催されます。本市中学生の活躍が期待されます。

社会教育関係では、「おばこ節全国大会」が開催されました。当日は、遠くは大阪から、全部で100名近い方々が出場し盛大に開催されました。6/23には、「Music Festival in DAISEN 大音響2024」が開催されます。将来の夢に向かって活動しているアーティストを応援しようというイベントです。地元を中心に活動しているアーティストや本市にゆかりのあるアーティストが出場します。アカペラ全国大会で優勝経験をもつグループや昨年の「秋田おばこ節全国大会」の優勝者、「NHKのど自慢大仙大会」チャンピオンなど、例年以上にバラエティに富んだ音楽が聴けるようです。委員の皆様も、お時間がありましたら、ぜひ足をお運びいただけましたら幸いです。ちなみに、入場料は無料です。社会教育委員と生涯学習推進連絡協議会委員の合同会議では、第4次生涯学習推進計画を踏まえ、関係事業について評価していただく予定です。

市長部局等との連携事業として、掲載の3つの事業に参加しております。
児童生徒の安全・安心面では、感染症の大きな流行や大きな事故等の報告はありませんでした。

その他として、市議会定例会での教育委員会関係の一般質問答弁を配布しておりますので、後ほどご覧ください。

以上で私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。
まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

それでは、2ページをご覧ください。

教育総務課は3項目記載しております。

1つ目の奨学資金運営審議会につきましては、5月28日に委員8名と事務局3名の計11名により開催しております。今年度は、大学生5名、専門学校生3名からの申請がありましたが、8名全員が認定の承認をいただいております。

2つ目の大仙市議会定例会についてです。6月18日が令和6年第2回定例会の最終日となり、教育委員会関係の議案は全て可決いただいております。

また、冒頭で教育長よりありましたが、今月30日をもって任期満了となります伊藤教育長及び伊藤委員の再任につきましても、議会の同意をいただいております。

教育総務課は、以上です。

伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課は7項目記載しております。そのうち、4項目について報告いたします。

はじめに、1番についてであります。本日の大曲小学校をもって、市内全小中学校の事務指導訪問が終了しました。指導要録や出席簿、健康診断票といった法定表簿の点検を行いました。

続いて、3番についてであります。事務の共同実施の全7グループのうち、本日までで4グループ終了しております。各学校の学年会計などの私費会計の処理について点検をしております。

次に5番についてであります。8月8日に行われる大仙市中学生サミットの協議内容や進行方法などについて、リモートで打ち合わせを行いました。市内各中学校からの代表生徒1、2名と生徒会を担当する教員、そして市教育委員会担当者が参加し、活発な意見交換が行われました。

最後に6番についてであります。先ほどの教育長からの報告にもありましたが、教育委員会訪問が6月26日の協和小学校から始まります。長丁場となりますが、教育委員の皆様のお出席について、重ねてお願いいたします。

教育指導課からの報告は以上になります。

伊藤教育長

次に、施設管理課長、お願いします。

施設管理課長

施設管理課からは、工事関係についてであります。

記載の中仙市民会館空調設備改修工事につきましては、今週17日から着工しており、大川西根公民館体育館屋根改修工事につきましては、来週の24日から着工予定となっております。

工事の内容であります。中仙市民会館につきましては、ホールや図書館を除く箇所空調設備改修となり、工期は11月20日までの約半年間、大川西根公民館体育館につきましては、カバー工法による屋根の葺き替え工事、工期は9月27日までの約3か月間となります。

それぞれ施設が稼働している中での工事となりますので、安全に十分に配慮しつつ、円滑に進めてまいります。

以上でございます。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターは、4項目記載しております。

今月は2件の施設見学がありました。スライドを使用しての学校給食の概要についての説明のあと、四ツ屋小学校の2年生には、実際に調理をしている様子を見学していただき、また、大仙市手をつなぐ育成会のみなさんには給食の試食もしていただきました。いろいろな質問をいただき、当センターとしても、大仙市の学校給食について知ってもらう、とても良い機会になったと感じています。

学校給食総合センターは、以上です。

伊藤教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

資料3ページ上段をご覧ください。

生涯学習課の行事報告は、記載の15項目となります。

はじめに15項目のうち、3項目について出席人数の訂正をお願いいたします。

7番の生涯学習奨励員連絡協議会総会ですが、40人出席予定としておりましたが、46人に訂正をお願いします。

8番の青少年育成大仙市民会議総会ですが、20人出席予定としておりましたが17人に訂正をお願いします。

9番の家庭教育支援チームに関する拡大会議ですが、15人を10人に訂正をお願いします。

それでは、行事報告ですが、3項目について説明します。

はじめに、3番、6月11日に開催した「障害者の生涯学習支援」に関する打合せについてであります。県生涯学習センターの職員にお越しいただき、障害の有無にかかわらず、誰もが互いに尊重し支え合う共生社会の実現に向け、本市として今後どのように事業を展開・推進するべきかを、これまで実施した取組についても説明しながら今後の方向性について意見交換を行っております。

次に9番ですが、昨日「令和6年度家庭教育支援チーム拡大会議」を開催しております。この家庭教育支援チームですが、子育てや家庭教育に関する子育て世帯からの相談に応じ、講座などの学習機会や地域の情報などを提供することを目的に、生涯学習課が主体となり、教育指導課、子ども未来部各課、子ども・若者相談センターなどにもご協力いただき構成されたチームであります。今回の会議では、今年度実施を予定している就学時健診時の「子育て講座」や子育て世帯向けパンフレット作製事業などの活動内容について意見交換しながら情報共有を図っております。

最後に、10番の「令和6年度大仙市二十歳を祝う会」第1回実行委員会を本日の18時30分より開催する予定です。二十歳を祝う会は毎年8月15日に開催しておりますが、今年度は前回の定例会時にも補正予算(案)として説明させていただきましたが、大仙市20周年記念事業とのコラボ企画の開催も予定しておりますので、そうした事も含め、実行委員になっていただいた皆さんと当日の役割ですとか、会の内容について協議することとしております。

生涯学習課からは、以上でございます。

伊藤教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館では、2項目記載しております。

2番目の四ツ屋小学校フィールドワークについてですけれども、2年生15名に参加をいただいて、当日は休館日でしたので、図書館内をゆっくり見学いただき、図書館資料などについて学んでいただいております。

総合図書館からは、以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館からは3項目記載しております。

先ほど教育長報告がありましたが、3番の「Music Festival in DAISEN 大音響2024」につきまして、明後日6月23日の日曜日14時から開催される予定です。大仙市にゆかりのあるアーティストによるコンサートです。アカペラからポップス、民謡まで多彩なジャンルのイベントとなっております。入場無料ですので、気軽に足を運んでいただければと思っております。

総合市民会館からは以上です。

伊藤教育長

次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長

花館公民館は、9項目を記載しております。

2番と3番になりますが、6月6日に内小友地区、6月8日に藤木地区で、世代を超えての交流事業を実施しております。

2つ目の「緑のカーテンづくり」では、省エネ対策として、窓からの日差しを遮り、室内温度の上昇が抑えられる効果が期待されることから、地区コミュニティ会議と小学校、保育園が一緒になり、ゴーヤをプランターへ植える活動しております。

3つ目の「藤木地区通学路整備事業」では、小・中学校の通学路に設置するプランター300個へ老人クラブや子ども会が一緒になり、ベコニアの定植しております。

花館公民館は以上です。

伊藤教育長

次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長

神岡中央公民館は、4項目記載しておりますが、4のさわやかウォーキングについて説明いたします。

6月30日の日曜日に、毎年恒例となっているウォーキングイベントを実施します。本日現在で10名の参加申し込みがあります。コースは、かみおか嶽雄館を出発し、中川原コミュニティ公園までの往復6.5kmです。地域の自然を楽しみながら歩いていただき、コース途中でフライングディスク体験も予定しております。

神岡中央公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、大綱交流館長、お願いします。

大綱交流館長

それでは、資料の4ページをご覧ください。

大綱交流館では、4つの項目を記載しておりますが、そのうち2つの項目についてご説明いたします。

はじめに、昨日開催した項目2の「いきいきカレッジ『西仙北地域の文化財・史跡探訪～樅峰苑、アーカイブズ～』」についてご説明いたします。大仙市アーカイブズでは、施設見学のほか、現在開催されている南檜岡の渡部分水家の企画展を見学しております。また、国の登録有形文化財の強首樅峰苑を訪れ、木造家屋の旧家の素晴らしさを学んでおります。10人参加予定と記載しておりますが、15人に訂正をお願いいたします。

次に項目4の「第43回西仙北芸術祭」についてご説明いたします。

「第43回西仙北芸術祭」は、6月29日、6月30日の2日間、大綱交流館を会場に開催する予定であります。大仙市芸術文化協会西仙北支部加盟団体をはじめ、西仙あおぞらこども園、みつば保育園、西仙北小・中学校の園児、児童、生徒、西仙北高校華道部の作品を展示いたしますので、是非、ご来場いただきたいと思っております。

大綱交流館の説明は、以上でございます。

伊藤教育長

次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館は、記載の4項目のとおりです。

4番の「中仙地域生涯学習奨励員協議会視察研修」を、6月28日奨励員5名の参加で開催予定です。視察は、にかほ市TDK歴史みらい館等の視察を予定しております。

中仙公民館は以上です。

伊藤教育長

次に、協和公民館長は欠席ですので、生涯学習課長からお願いします。

生涯学習課長

協和公民館は12項目となりますが、そのうち9番、6月14日に行われた協和小学校芸術鑑賞会「大湊海上自衛隊コンサート」ですが、188人の参加にな

っていますが、実際の参加人数は児童129名、保護者等85名で、214名の参加でした。今回は先方のご希望により子ども向けの演奏会でしたが、子ども達も喜び興味を示していたので、自衛隊の意向通りの演奏会ができたものと感じています。

協和公民館は以上です。

伊藤教育長

次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長

南外公民館では8項目あげさせていただきました。

1番の「南外の緑(あお)里山ウォーキング」は、例年「檜岡さなぶり酒花火」の翌朝、会場となった南外体育館駐車場と南外ふれあいパーク周辺のごみを拾いながらウォーキングを行っているもので、今回は10名の参加がありました。クマ出没の影響もあり、ウォーキングをされる方もイベントに参加される方も減っているように感じています。

また昨年まではコロナの影響で飲食やごみに関するマナーが徹底されており翌朝会場付近にゴミがほとんどない状態が続いておりましたが、今回は残念ながら飲みかけのジュースやたばこの吸い殻など多くのごみを拾うことになりました。ゴミがあることで熊を呼び、熊が出るとウォーキングする人が減るという悪循環にもつながりかねません。

今後も翌朝のウォーキングへの参加を呼び掛けることで参加者を増やすことはもちろん、ごみを捨てない啓発にもつながっていきたいと考えております。

以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長は欠席ですので、生涯学習課長からお願いします。

生涯学習課長

資料5ページ上段となります。

仙北公民館は14項目あげております。

9つ目の、「史跡の里ふれあいコンサート海上自衛隊大湊音楽隊のコンサート」ですが、仙北ふれあい文化センター開館30周年の記念事業として開催しました。当日は、622人の方に鑑賞いただきました。750人とありますが、訂正をお願いします。「楽しかった〜」「感激した」「アンコールの秋田県民歌は、感動して熱唱してしまった」などと、お礼を述べてくれた方もいらっしゃいました。今後も、地域に根ざした会館・公民館を目指してまいりたいと思います。

仙北公民館は以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民館は、9項目記載しております。

うち1番のてくてくウォーキング in おおたについて、ご説明いたします。

「てくてくウォーキング in おおた」は秋田太田奥羽グラウンドゴルフ場駐車場をスタートし、大台スキー場展望台まで登り、帰りは車で移動する5kmコースと、そのまま徒歩で降りスタート地点まで行く10kmコースがあり、ウォーキングに親しみ、人のふれあいや自らの心とからだの健康づくりを目指し、明るく生きがいのある生活を創りあげることが目的としています。

今年度は5kmコースに31名、10kmコースに23名の方が参加しました。

定刻どおり9時20分から出発式を行い、ラジオ体操で体をほぐした後スタートしましたが、大台スキー場のロッジについた時に、雨が降ってきました。雨雲レーダーなどで確認し、雨雲が過ぎたら再開する予定でしたが、雷の発生する危険性があり、山頂では雷を避ける場所がないことから、状況を参加者に説明しその場で解散としました。参加者は車でスタート地点まで移送し、来年度の参加をお願いしますと終了としました。

太田公民館からは以上です。

伊藤教育長

ありがとうございました。以上、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。

ただいまの報告につきまして、委員の皆様からご質問等ございましたら、お願いいたします。

伊藤委員

2点ありまして、まず、南外公民館の方ですけれども、先ほどご説明いただいた中で、熊出没の心配があるということでしたが、何か対策とか行っていますか。

もう1点、太田公民館の方ですけど、ハーフマラソン大会というのは、今回初めての開催かと思うんですけれども、その辺の経緯をお願いします。

伊藤教育長

はい。そうすれば、南外公民館長。熊対策を何か行っているかということですが、いかがでしょうか。

南外公民館長

はい。南外公民館では、すいません、熊対策ということは特段やっていないんですけれども、熊出没の情報があつた場所は通らないようにしております。

また、花火大会が前日やられておりますので、近隣の方々が草刈りをしてくださっていて、その日は比較的安全な形でウォーキングができるようになっております。以上です。

伊藤委員

ありがとうございます。安全な形で実施できることがわかると参加しやすくなると思いますので、よろしくお願いします。

伊藤教育長

引き続き、こういったイベントでは注意が必要ということだと思います。

それでは、太田の方。では、太田ハーフマラソンの件、何か情報ありましたらお願いいたします。

太田公民館長

はい。太田公民館です。ハーフマラソンの件でございますけれども、昨年度まで奥羽太田ロードレース大会ということで、グラウンドゴルフ場周辺を会場としておりましたけれども、今年度この大会の名称を変更し、メイン会場発着点も大台スキー場に変更します。それから、コースですが、これまでは2キロ、5キロ、10キロコースでありましたが、それにハーフコース、21キロコースを新設し、スキー場の冬季以外のグリーンシーズンイベントとして、奥羽山脈を眺めながら走るというマラソン大会といたします。

また、令和7年度以降は、他地域開催のマラソンイベントと被らない5月中の開催を予定しております。

先日、実行委員会を行いまして、太田支所長が実行委員長となり、21名が参加し、予算ですとかコースの内容、これらについて検討したところでございます。以上です。

伊藤教育長

実施予定日はいつでしたか。

太田公民館長

今年度は10月13日、3連休の中日になります。

伊藤教育長

という状況のようです。

伊藤委員

はい、ありがとうございます。これまでのロードレースに代わる大会ということで、21キロのコースも新設となり、今まで物足りないという方もいたかと思

いますので、大変良いと思います。よろしく申し上げます。

伊藤教育長

来年以降も見据えて、計画を重ねていくということのようですので、よろしく
お願いいたします。他にいかがでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいですか。それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

次に、次第の4番、その他に入らせていただきます。

はじめに、給付型奨学金について説明させていただきます。教育総務課長、お
願います。

教育総務課長

はい。それでは、給付型奨学金制度についてですが、本日同席の担当職員を
紹介させていただきます。佐々木翔馬副主幹でございます。よろしくお願いま
す。

それでは、資料ナンバー2をご覧ください。

本制度につきましては、昨年10月の教育委員会定例会終了後の協議会にお
いて、その時点での大まかな計画をご紹介いたしました。そして今般、制度の
大枠が固まったことから、6月10日、市議会の教育厚生常任委員会協議会にお
いて委員の方々に概要を説明いたしましたので、あらためて皆様に本制度につ
いてご説明をさせていただきます。

資料ナンバー2、1ページ目をご覧ください。

昨年4月、大仙市出身で県外在住の方から、存命中、毎年1,000万円の寄
付をしたいこと、そしてその用途を、将来返還する必要のない給付型奨学金とし
てもらいたい、との申し出をいただきました。そこで、この寄付を原資とした
制度設計を進めてまいりました。

この制度は、寄付者の思いを汲み、意欲と能力のある子どもたちが経済的理
由で進学を断念することなく、大学等での修学の機会が得られることを目的と
しています。

一方、国では、令和2年度から少子化対策の政策として「高等教育の修学支援
新制度」通称高等教育無償化を実施しておりますが、給付型奨学金や授業料の
一部免除などの支援を行っております。主に低所得世帯の子供に対する制度で
あることから、その支援範囲は限定的となっております。

そこで、本制度設計に当たりましては、国の制度よりも収入要件や成績要件等
を緩和し、国の制度に該当しない方を対象に進学のための後押しとして位置づ
け、経済的不安を減らすことを目的としています。

2の制度の概要についてですが、申込み要件として6項目全てを満たした方が対象となります。(1)は、進学先の学校が高等教育無償化の対象である確認大学等であることとなっています。この確認大学とは、国公立、私立問わず、一般的な大学、短大、専門学校等が該当し、例えば防衛大学校あるいは気象大学校などは該当はいたしません。(2)は、国の高等教育無償化に該当していないことを条件としています。つまり、この市の制度との併用はできないということになります。(3)は、保護者が大仙市民であることとしております。(4)の①では高校3年生での卒業生を、②では1浪生を対象としています。(5)は、市民税所得割額の上限を定めています。(6)は、高校での成績について、国では3.5以上としているものを、要件を緩和して3.0以上としております。

奨学金の給付は、年に5名程度、最短修学年限まで年間48万円としています。これは、決定を受けた奨学生が卒業するまでの給付金を確保するために、原資である年1,000万を超えないようにする必要があり、また、医学部など6年制大学に進学するケースもあることから、その年によっては4人になる場合もあることを想定しています。上記6項目を満たした者について、税額を低い順に、成績を高い順に並べて順位付けをし、奨学生を決定します。なお、制度の見直しは、国の修学支援制度や社会情勢を鑑み、随時実施することといたします。

3のスケジュールですが、3月議会でコスモス奨学基金条例を、そして今議会において債務負担行為の設定について承認をいただいております。

2ページ目、次のページをご覧ください。

来年5月下旬の最初の奨学生決定までのスケジュールとなります。

国の制度への申込みは既に始まっており、その選考結果は来年1月には出ることになりますが、この結果を受けて、市の制度への申請が来年2月から4月の3ヶ月間に行われることとなります。そこで、ホームページ等への掲載を含め、来月以降周知を進めていきますが、近隣の高校には直接出向いて制度の説明をすることにしています。

3ページ目をご覧ください。

高等教育無償化について、国のホームページからの資料となります。

右側のグラフのとおり、自宅以外から私立大学に通う場合は、年収目安が第Ⅲ区分に該当した場合でも約53万円であり、市の制度の48万円を上回る支援を受けることができます。ただし、下の2つの表にあるとおり、通学区分、学校区分によっては支援の額は変動するため、金額的には市の制度が有利になる場合もあります。例えば、自宅から秋田大学に通う場合、第Ⅲ区分に該当すると、入学金は28万円の3分の1で10万円弱、奨学金35万円と授業料54万円、合わせて89万円の3分の1で年間約30万円の支援となります。

国の制度は、要件を満たす学生全員が対象となり、一方、市の制度は年に5名程度であることから、この資料右上にありますQRコードからシミュレーションを実施することについてもしっかりと周知して、各家庭で検討いただきたいと思っております。

最後、4ページ目は、教育厚生常務委員会協議会翌日、6月11日の秋田魁新報の記事でございます。ご覧になった方もいらっしゃると思います。

以上、給付型奨学金制度の概要についてご説明をさせていただきました。

伊藤教育長

はい。ただ、今の説明につきまして、何かご質問等ございませんでしょうか。

小笠原委員

はい。認定の過程で、国の支援、国の制度に該当するかしないかという結果を踏まえた後での市の制度申し込みで、2月から4月っていうことですがけれども、これでいくと、入学時に奨学生がお金かかるわけですがけれども、その時になかなか該当しないというところがあって、その辺りは何か対応をお考えでしょうか。

教育総務課長

はい。確かにお話の通りでございます。あくまでも毎月の生活費を含めた支援という形での奨学金という制度設計にしておりますので、入学金の援助支援というものは、タイミングという問題もありますけれども、現在想定はしていないというのが現実です。

伊藤教育長

いろんな考え方があり、国の制度を補完するというあたりで進めておりますので、そこまではなかなか配慮できなかったのかなというところではあります。他にいかがでしょうか。

伊藤教育長

例えば募集要項、いわゆる配布用の募集要項の作成にかかっていますので、もし何かあれば、今出していただければ、そこはわかりにくいとかどうなってるんだろうっていうのを反映することができますので、遠慮なく出していただければと思います。いかがでしょうか。

小笠原委員

もしかしてその国の制度に応募しないっていう、それが分かっている方であれば、先に募集を始めてもいいのかなという気もするんです。そうした場合には、もしかして4月の入学に間に合うというような奨学生も出る可能性は。でも全体のバランスで決めるからちょっと難しいんでしょうね。

いずれ、国の制度を補完的にするという意味合いの種の制度ということですからね。ありがとうございます。

伊藤教育長

全体バランスもありますので、ご了解をお願いいたします。

伊藤教育長

中島委員、伊藤委員、よろしいですか。はい、どうぞ。

伊藤委員

確認大学ということなので、ちょっと該当になるかわからないんですけど、専門学校とかだと基礎課程と応用課程みたいな感じで2段階になっていて、例えば最初2年、さらにもう2年とかなってる場合に、その最短でやるのか、最長でやるのか。1回の申請で2年で卒業するというのであれば、そこで完結する手続きの形の方が負担が少ないかなと思いましたが。最長で申し込んでおいて、途中でやめた場合は、その時に手続する方が負担が少ないなとそう思いました。

伊藤教育長

いわゆる就業年限の最短はどう考えるかということなんですね。

教育総務課長

はい。学校の最短修学年限っていうのは、決まっていることになると思いますので、まずその期間の給付ということが、これは基本的な考え方になります。専門学校であれば、違う部分もあるかもしれませんが。最短4年とかっていう専門学校もあったりするんですかね。

伊藤委員

なんていうか、基礎過程と応用過程みたいな感じで2階建てになってるって言いますか、基礎だけで終わる場合もあるし、そこから応用まで行って4年学んで。それぞれ単体みたいな感じなんですけど、そのまま大学のように進めるっていうんですか。

教育総務課長

いずれそこは、その学校の状況で判断させていただきたいと思います。

伊藤教育長

この後精査して、いずれ、この確認大学というのも国の制度で定義してるものがあるようですので、基本的にはそれと同じ考え方になると思いますので、この後確認して進めさせていただきます。

伊藤教育長

はい。中島委員どうぞ。

中島委員

国の方の奨学金も、返さなくていいものですか。

教育総務課長

この資料にあげてる国の奨学金は返さなくても良いです。

伊藤教育長

国も市も、給付型と貸与型と2つ持ってますので、これはどこまでも国も、市の場合も、給付型については返さなくても良い取り扱いとなっています。

伊藤教育長

その他、もし何かあれば、終わってからでも結構ですので、事務局、担当もいますので、ぜひ教えていただければと思います。それでは、給付型奨学金についてはこれで終わらせていただきます。

次に、東部学校給食センター空調工事に伴う給食提供停止及び弁当提供について説明させていただきます。学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

それでは、「東部学校給食センター空調工事に伴う給食提供停止及び弁当提供」についてご説明いたします。

配付資料の資料ナンバー3をご覧ください。

こちらのお知らせは、中仙、太田地域の小中学校の保護者のみなさんに、東部学校給食センター空調工事に伴い、給食の提供ができない期間があること、また、その期間の給食の代替として、外部に委託した弁当を提供することについて、お知らせしたものです。

東部学校給食センター空調工事は、4月30日から10月31日を工期とし、調理室内の工事は夏休みに入ります7月20日から行う予定となっておりますが、工程上どうしても夏休み中に工事を終えることができず、8月21日(水)から9月6日(金)までの13日間は、通常の給食を提供できない状況となります。

この期間の給食提供について、東部学校給食センター以外の3センターで調理ができないか検討いたしました。食数が多いことから、各センターの既存の厨房設備では調理が難しく、また、各家庭からの弁当の持参は、保護者の負担が大きいことから、弁当を外部に委託することとしたものです。

委託する業者については、学校給食として弁当を提供することから、安全安心を第一に、HACCPに沿った衛生管理を導入している業者を選定し、献立については、委託先と東部学校給食センターの栄養教諭が十分な打合せを行い、小中学校

それぞれの栄養基準を満たした献立といたします。この献立については、7、8月の給食日より保護者に事前にお知らせする予定です。

また、食物アレルギーの対応についてですが、アレルギーの種類や対応方法が様々であり、委託先での対応が難しいため、改修工事の対象外であるアレルギー室で、衛生面での万全な対策を講じた上で、おかずを調理し、アレルギー対応を行った弁当を提供することといたします。こちらは、個別に保護者に詳細について、お知らせすることとします。

今のところ、今回のお知らせに関する保護者からの問い合わせは、給食センターには来ておりません。今後も、学校や保護者のみなさんに、不便をかけることがないように、また安心してお弁当を食べていただけるよう、万全を期して対応していきたいと考えております。

説明は以上となります。

伊藤教育長

はい。ただいまの説明について、何かご質問等ございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

それでは、「東部学校給食センター空調工事に伴う給食提供停止及び弁当提供」については、これで終わらせていただきます。

次に、今後の定例記者会見等で発表する事業について、教育指導課、生涯学習課から説明をさせていただきます。はじめに、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

それでは、教育指導課の事業内容についてご説明いたします。

はじめに、「大仙ふるさと博士育成事業」についてご説明いたします。資料は配付資料のナンバー4とナンバー5になります。

大仙ふるさと博士育成事業の夏の特別企画としてナンバー4の「企業見学 DAY」とナンバー5の「ふるさと農業体験 DAY」を今年度も計画しました。「企業見学 DAY」、「ふるさと農業体験 DAY」それぞれ3つの事業所等から御協力をいただき、子どもたちが様々な見学や体験活動をさせていただきます。

昨年度はどちらの企画も予想以上の申し込みがあり、小中学生の子どもたちは生き生きと活動しておりました。申し込みの受付は6月28日から行う予定です。

次に「大仙イングリッシュデー」についてご説明いたします。資料は別の配付資料になります。

大仙市の外国語指導助手や国際交流員との交流を通じて英語への興味・関心

を高めるとともに、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることを目的に行うものです。

今年度も学年ごとに3日間に分けて実施します。こちらの募集はすでに終了しており、資料にあります人数で確定しております。

最後に、資料はございませんが、先ほどの報告でも少し触れました、「大仙中学生サミット」についてご説明いたします。

今年度は各小中学校の代表児童生徒が集まり、SDGsに関連した取組について発表したり、協議を行ったりします。

この「大仙中学生サミット」には、教育委員の皆様からもオブザーバーとして出席いただきたく、まもなくご案内をお送りいたします。

日時は8月8日(木)午後1時30分から午後3時40分までを予定しています。会場は仙北ふれあい文化センターです。どうかご協力いただきますようお願いいたします。

ご説明は以上となります。

伊藤教育長

はい。続いて、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課からは2件でございます。

はじめに、『『20周年記念事業』大仙市民ギャラリーの開設』についてご説明いたします。配布資料の資料ナンバー6をご覧ください。

当事業ですが、先月の第5回教育委員会定例会において補正予算案についてご承認いただいた案件となりますが、大仙市誕生20周年の記念事業として、イオンモール大曲内に作品展示用ギャラリーを開設し、市内の芸術文化団体等の作品展示を行うほか、大仙市の歩みや魅力を知ることができる企画展や、大仙市出身アーティストの作品を間近で鑑賞できる個展などを開催するものであります。

詳細は資料の囲みの部分となります。期間・会場につきましては記載のとおりでございます。今後ギャラリーで開催予定の内容ですが、(1)に記載の大仙市誕生20周年記念事業としての企画展4メニューのほか、(2)に記載しておりますが、地域団体等の作品展示をはじめ、地元芸術家の創作展、中学生・高校生が制作した作品展示なども予定しております。現在予定している年間スケジュールは表に記載のとおりでございます。なお、当ギャラリー開設に係る市民への周知であります。市広報7月号で概要をお知らせし、8月号で応募方法等の詳細を掲載する予定です。報道関係者への定例記者会見のタイミングですが、資料には7月と記載しておりますが、7月とするか、ほかの20周年事業と足並みを揃えて8月とするか、現在、広報広聴課等市長部局と調整中であります。

続きまして、「大仙の魅力発見 大仙市ふるさと探訪楽園ツアー」についてご

説明いたします。配布資料の資料ナンバー7をご覧ください。

このツアーは、市民の皆さんが市内の地域資源を探訪し、ふるさと大仙の魅力を再発見していただくもので、参加者が「もっと地域を知りたい」と地域資源に対する学習意欲を持つきっかけづくりとなったことから、令和3年度から継続して実施している事業であります。

当日は、市内各地を市の職員や地域の方にもガイドしていただき、実は知られているようで、知られていない市の魅力を再認識し体験できるツアーとなります。気軽に参加できるメニューを取り揃えていることがこのツアーの魅力となります。

今回のツアーの詳細は資料囲みに記載のとおりとなります。

参加対象は大仙市にお住まいの方としておりますが、申し込みが定員に達しない場合は市外の方でも参加可能としております。

参加費はそのメニューによって異なりますが、弁当や施設見学料が必要な場合は参加者にご負担いただきますが、それ以外は基本的に無料となります。

ツアーの行程は、①番7月18日に予定する西仙北地域と神岡地域の両地域を巡る「根堀り葉堀りお仕事&歴史探訪」からはじまりまして、②番7月25日に予定する協和地域の「県指定天然記念物に指定のしだれ桜やシダレ栗などを見学する魅力探訪」、それから③番、7月31日に予定する、中仙地域の「秋田の国宝と中仙の酒蔵を見学するツアー」まで、歴史・自然・文化などに関連した3つの地域資源メニューを予定しております。

なお、今回も特典として、ツアー参加者のうち、健幸まちづくりプロジェクト参加者には100ポイント、小中学生には「ふるさと博士3ポイント」を付与することとしております。

今回は夏のツアーとなりますが、今後は秋のツアーも9月以降、順次開催する予定としております。

ご説明は以上となります。

伊藤教育長

はい。ただ、今の説明についてご質問等ございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいですか。ちなみに、ナガイ白衣さんは、今週の土曜日のNHKお昼12時15分からの探検ファクトリーという番組で放送される時間がありますので、もしお時間がありましたら視聴していただければと思います。

それでは、この件はこれで終了します。

その他、この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいですか。

それでは、教育総務課長から次回の日程等についてお願いします。

教育総務課長

はい。次回定例会ですが、7月24日水曜日、午後3時30分から、こちら大会議室で開催いたしますので、ご都合方よろしく願いいたします。以上でございます。

伊藤教育長

次回定例会は、7月24日水曜日、午後3時30分から、ここ大会議室にて開催としての提案です。皆様、よろしいでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしく願いいたします。では、次回定例会はそのように予定いたします。

本日の日程は全て終了いたしました。以上で定例会を閉じます。ありがとうございました。お疲れ様でした。